

専攻主科目名

生体防御感染症学

◆問合わせ連絡先 担当:内科学講座(感染症) 北沢貴利

E-mail kitazawa.takatoshi.tm@teikyo-u.ac.jp

TEL 03-3964-1211 (モバイル:7654)

HP (研究室・診療科) <http://www2.med.teikyo-u.ac.jp/infectious/>

教員・スタッフ紹介

■ 教授 北沢 貴利

専門分野: 感染症バイオマーカー、敗血症、腎盂腎炎

■ 准教授 若林 義賢

専門分野: HIV感染症、菌血症

■ 助教 中山 津

専門分野: COVID-19

■ 臨床助手 山本 藍

専門分野: 腎盂腎炎

大学院で「感染症」を研究する意味

- 病院で(初期)研修を始めると...
 - 多くの感染(症)に出会います。



- 感染症はより難しい時代に...
 - 耐性菌、インバウンド・アウトバウンド、気候変動、**新興感染症**...



感染症内科

講座の概要・特色

◆ 臨床直結の研究環境

都内の大学病院として総合内科の病棟診療に関わり、市中感染症を多く扱うため、臨床に直結したテーマでの研究が可能です。

◆ HIV診療の拠点病院

都内のHIV拠点病院として多くのHIV患者を診療しており、自施設および連携施設と共同でHIV診療上の課題に関する研究を進めやすい環境です。

◆ 施設・連携

実験室はBSL2対応

東京大学感染症内科との共同研究あり

感染症臨床研究ネットワーク(iCROWN)事業に準研究実施機関

臨床演習

- 病棟演習

- 総合内科の一員として
 - 感染症症例の内科的マネジメントに通じる
- 院内コンサルテーション
 - 全ての領域の感染症に対応

- 外来演習

- 一般的な感染性疾患
- 特殊な感染症(HIV感染症、熱帯感染症など)

- 感染制御

- ICT・ASTの一員として

- 専門研究(基礎・臨床)

- 臨床研究

- 様々な感染症の疫学

- 敗血症・CD腸炎・心内膜炎・肺炎・尿路感染症など

- 多剤耐性菌に関する疫学

- HIV治療・結核治療の副作用

- インフルエンザ

- COVID-19の予後予測

- 基礎研究

- CD腸炎と免疫

- HIV薬の副作用

- COVID-19悪化のメカニズム...

過去の大学院生の研究テーマ例

- ▶ 感染症における血清endocan濃度の特徴に関する研究
- ▶ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)オミクロン株流行期における内臓脂肪と重症度・転帰の関連性
- ▶ 成人腎盂腎炎の診断におけるバイオマーカー尿中好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン(NGAL)の有用性の解析

主な研究業績(2024-2025年)

【論文】

Kitazawa T, et al. Disseminated Nontuberculous Mycobacterium Infection During Treatment of Multiple Myeloma. *Intern Med*. 2025;64(8):1275-1279.

Okazaki A, et al. Epidemiology and risk factors for mortality in clostridial bacteremia in Japan. *Int J Infect Dis*. 2025;151:107358.

Nakayama S, et al. Low visceral fat volume and hypoalbuminemia as prognostic markers in COVID-19 during the omicron variant epidemic. *Clin Nutr ESPEN*. 2024;64:93-99.

Nakayama S, et al. Tubo-ovarian abscess caused by *Clostridioides difficile* after eight months of surgery. *J Infect Chemother*. 2025;31(1):102432.

【学会発表】

中山 津 他. 当院での *Dialister pneumosintes* 菌血症症例の検討. 第99回日本感染症学会総会・第73回日本化学療法学会合同学会. 東京, 2025

Wakabayashi Y, et al. Muscle Mass and COVID-19: Sarcopenia through Psoas Volume Analysis using AI Technology. ERS Congress. Vienna, 2024

Kitazawa T, et al. Prediction of prognosis of visceral and subcutaneous fat areas in pyelonephritis. IDWeek2024. Los Angeles, 2024

Kitazawa T, et al. Hypoalbuminemia is an indicator of prolonged recovery in Omicron variant COVID-19. 20th ICID. Cape Town, 2024

【ガイドライン執筆】

北沢 貴利. 結核診療ガイドライン2024(CQ10 抗菌薬投与中の結核患者に肝障害が出現した場合の対応). 南江堂, 2024

感染症で卒業後にすすむキャリア

- 学位取得まで、取得後も柔軟にキャリアパスの組み立てを行います。
- 内科専門医、感染症専門医の取得のほか、インфекションコントロールドクター、抗菌化学認定医、エイズ学会認定医などの取得もサポートします。

